

第7章 その他の地域の新幹線

全国には図3-7-1に示すように、基本計画線と呼ばれる新幹線の建設計画が存在する。1973(昭和48)年に、整備計画5線の決定がされるのと同時に、基本計画決定がなされたわけだが、整備5線でさえ建設が遅々として進まない状態なので、基本計画路線は出る幕がないのが現状である。なお、中央新幹線も基本計画線だが、他と性格が異なるので省略する。

第1節 各線概説

1. 北海道新幹線 札幌 - 旭川間

北海道新幹線(整備計画決定済)の延長線として旭川まで延ばすもの。

2. 北海道南回り新幹線 長万部 - 札幌間

整備計画決定済の北海道新幹線は北回りだが、札幌と函館を結ぶ在来線特急はすべて南回り。

3. 羽越新幹線 富山 - 青森間

北陸新幹線(整備計画決定済)とともに日本海縦貫線を形成する。

4. 奥羽新幹線 福島 - 秋田間

秋田・山形と東北新幹線福島とを結ぶ路線。福島 - 山形間はミニ新幹線(新幹線直行特急)として昨年すでに開業済。ただし、山形 - 秋田間については未定。

5. 北陸中京新幹線 敦賀 - 名古屋間

北陸新幹線(整備計画決定済)、東海道新幹線と連絡して、北陸と各地を結ぶ。

6. 山陰新幹線 新大阪 - 下関間

京都府北部、兵庫県北部、鳥取県、島根県、山口県北西部といった人口希

薄地帯を結ぶ。鉄道輸送に関して、比較的に力を入れられていない。まずは J R 西日本が在来線強化に乗り出すべきである。

7. 中国横断新幹線 岡山 - 松江間

山陽新幹線岡山から松江にいたる陰陽連絡新幹線。

8. 四国新幹線 新大阪 - 大分間

建設工事中の明石海峡大橋を通して淡路島を經由、完成した鳴門大橋を経て徳島、高松、松山を横断し、豊予海峡を海底トンネルで渡って大分に至る。しかし、明石海峡大橋が道路専用橋になったのでこの計画は切り捨てられたかもしれない。鳴門大橋の新幹線部分が無駄になりそうだが、関西新空港と絡めて大阪湾をチューブトンネルで渡る案もある。

9. 四国縦断新幹線 岡山 - 高知間

岡山から瀬戸大橋を渡って高知に至る。瀬戸大橋はフル規格新幹線の路盤ができている。

10. 東九州新幹線 博多 - 西鹿児島間

山陽新幹線の小倉から分岐するのか、博多から筑豊地区を通過していくのかは未定。

11. 九州横断新幹線 大分 - 熊本間

九州内部の東西の移動の利便性を図る。

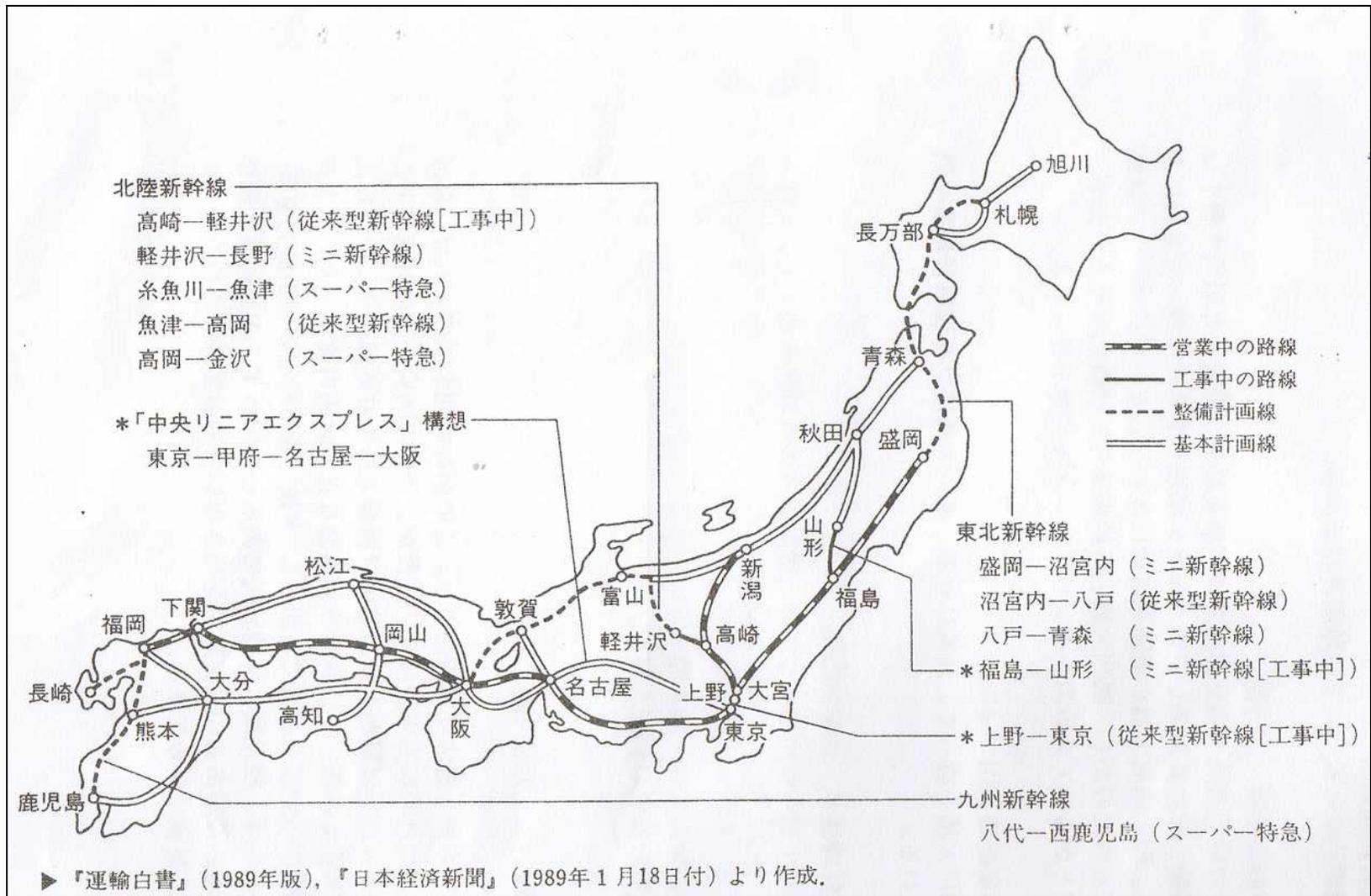


図3-7-1 新幹線構想 (『日本のビッグビジネス JRグループ』より)